

サイモン・アークの事件簿V 例会レジュメ 2014/04/19

I 作者の紹介

エドワード・D・ホック Edward D. Hoch

1930年 - 2008年、アメリカ。エラリー・クイーンに師事し短編を中心に数々の名作を生んできたミステリ界の大御所。アメリカ探偵作家クラブ（MWA）会長などを歴任、2001年にはアメリカ探偵作家クラブ（MWA）賞巨匠賞を受賞。邦訳された主な作品に「サム・ホーソーン」シリーズ、「怪盗ニック」シリーズなど多数。（「エドワード・D・ホックのシャーロック・ホームズ・ストーリーズ」著者紹介より）

主な著作

サイモン・アークの事件簿シリーズ I～V

サム・ホーソーンシリーズ

怪盗ニックシリーズ

また、コナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」のパステイッシュも手がけている。

他にも「阪神タイガース」応援のための(?) アンソロジー「新本格猛虎会の冒険」に唯一の外国人作家として寄稿している。

II サイモン・アークの事件簿シリーズについて

「サイモン・アークの事件簿」シリーズ

エドワード・D・ホックのデビュー作品は、サイモン・アークもの。日本で出ているのはアメリカで出版されたものを、再編したものである。

III サイモン・アークの事件簿V

<裏表紙より>

風変わりな人々や事物が関わる奇妙な事件の起こるとき、謎の男サイモン・アークは現れる。あるときは超常現象研究者、またあるときは私立探偵として。警官が監視する中、焼死したはずの男が遂げた不可能犯罪、現代ニューヨークに住まう魔女の呪いが生む回転ドアの密室……暗黒の事象と犯罪が交差する怪事件を、オカルト探偵が明晰な推理力で解いていく 8編を収録した第五短編集。

<サイモン・アークについて>

「彼は探偵ではありません。彼は現代悪の本質を研究しています。それで、当然のことながら、殺人事件に遭遇するわけです」(p 16)

「わたしは探偵ではないんだよ、きみ。知っているはずだ。わたしはいろんな形の悪行を調べるが、それは悪魔が行う悪行だけだ」(p 19)

2000年生きていると言ったり、悪魔を求めていたりオカルトな部分もありながら、その一方で自分で自分のことを「世界じゅうで一番人間らしいかもしれない」と言ったりする……。

<作品>

闇の塔からの叫び

呪われた裸女

炙り殺された男の復讐

シェイクスピアの直筆原稿

海から戻ってきたミイラ

パーク・アヴェニューに住む魔女

砂漠洪水を待つ箱船

怖がらせの鈴